

「音楽づくり」ガイドについて

学びの系統性や連続性が求められる中で、「音楽づくり」においても学びのつながりが重視されています。本ガイドで挙げる事例は、「音楽づくり」の学習の展開だけでなく、それがどのような学習や題材に関連しているのかを念頭において編集されています。

事例は大きく分けて2種類のものを紹介していきます。一つは、令和6年度教科書の「育てよう」に着眼し、「即興的な表現」につながる多様な「音楽あそび」や、様々な題材、他学年の題材の常時的な活動として位置付けられる活動です。ここでは、昨年（2024年）文部科学省より出された参考資料「[幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？](#)」を踏まえて、園児と小学校1年生の学びの接点に関わる活動も示しています。

もう一つは、2013年に出版された「子どもの工夫が見える音楽づくりの事例集」（教育芸術社 発行）以降に教科書に掲載された「音楽づくり」の教材について、その詳細な展開例を取り上げていきます。そこでは、令和6年度教科書より提示されている二次元コードの内容を生かすなど、ICTの活用についても例示しています。他の題材あるいは他学年の学習との関わりについては、各事例の最後に記述します。

教科書教材の事例における評価については、「[『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料](#)」（2020年 国立教育政策研究所教育課程研究センター）に基づいています。また、「『音楽づくり』の評価は難しい」と問われ続けている現状を踏まえ、「評価ガイド」としてそのポイントや詳細を具体的に記載するようにしています。

本ガイドはWEBであることを生かし、令和6年度教科書の新規掲載教材を優先してアップしていきます。また一部の教材では、教科書の内容をベースにしながら、より音楽的な深まりを目指した活動も含めた事例を紹介しています。今、必要ではないと思われる内容であっても、実は担当学年の他の学習につながっているということも考えられます。それぞれの立場で、アップされた事例を見ていただき「この部分は使えるな！」と思ったら、ぜひ活用してみてください。

本ガイドが、学ぶ子どもにとって、また指導される先生方にとって、より納得のいく「音楽づくり」の学習の手掛かりとなることを願っています。

2025年9月
監修 石上則子